

兵庫県市川町/避難所におけるWiFi環境の整備

事例概要

災害時における避難所での公衆WiFi整備を目的にWiFi未整備避難所にイニシャルコスト不要のモバイルルータを導入。ランニングコストを抑え、WiFi環境整備することに成功。

導入前

- 地方公共団体等ニーズ：避難所における低コストなWiFi環境整備
- 上記ニーズの背景：地域防災計画に基づく避難所環境整備
- 防テクPF活用理由：①企業と気軽に意見交換したい。
②市川町のニーズに合った提案を受けたい。

防テクPFの活用状況

- 防テクPF活用メリット：マッチングセミナー展示会場で気軽な意見交換ができ、目的意識を持った情報収集ができた。
- スケジュール：令和4年度にセミナー参加、情報収集。令和5年度に予算化、WiFi整備実施。

導入技術概要

災害備蓄用モバイルルータの導入。費用はイニシャルのみで、利用日だけ課金される。ランニング費用を抑えたいニーズと合致し購入した。

基本料 0円
費用は使った日だけ!

災害 備蓄用 モバイルルータ
N3アクセス
エヌスリーアクセス

docomo
au
SoftBank
3キャリアOK!
万一、1キャリアが滞滞しても他キャリアでカバー!

TELEJET

N3アクセス
1台でスマホ類
5~10台 OK!

POINT
N3アクセスの特徴

POINT1 基本料 0円! 避難所の災害備蓄品に最適!	POINT2 3キャリアOK! docomo au SoftBank すべて使えて通信障害知らず!	POINT3 電波の強い通信キャリアを自動的に選ぶ!	POINT4 費用は使った日だけ! 150円(1GB/日)~	POINT5 N3アクセス1台でスマホ類 5~10台 利用可能! 想定避難者数100名の避難所なら10~20台でOK!
---	---	--------------------------------------	---	--

マッチング先(テレネット(株))HPより抜粋

導入後

災害に備え令和5年度にWiFi未整備避難所にモバイルルーター導入。費用は災害時の使用分しかかからず、費用を抑えたWiFi整備を実現。防テクPFを通じてニーズや条件に合うシステムを探索でき、短期間に予算化・実装を実現。

